

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 チャイルドサポートみやこⅡ

保護者等数(児童数)

回収数 15 割合100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	15				教室も広く、ホールや中庭もあり、子供も楽しんでいます。	
	2 職員の配置数や専門性は適切である	14	1			職員の目が行きとどいている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	15				外にはスロープもあり、教室に入るまで段差もなく安心です。廊下には先生や、活動の情報が提示されています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	15				毎日掃除しているスタッフの姿を見ます。とても清潔で、不衛生と感じた事はありません。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	15				相談員さんも交え、今の課題をしっかりと分析して頂いております。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	15				たっぷり時間を取って面談して頂き、とても分かりやすく、設定して頂いていると感じます。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	15				心配な面を的確に支援して頂いていると感じています。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	14	1			毎日活動内容が異なり、子供も毎日今日会った事を楽しそうに話しています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	13	2			うららか保育園との交流はありますが、他の保育園や幼稚園との交流はないようです。	計画し、他の保育園との交流も活動に取り入れるよう努めています。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	15				個別でしっかりと説明がありました。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	14	1			きちんと説明があり、また保護者の声もきちんと聞いて頂くことが出来ました。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われている	13	1		1	ペアトレについては今月末に初めて参加予定です。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15				お迎えの際に健康状況や本日の活動内容、時には課題についても必ず伝えて頂き助かって	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	15				定期的に面談があり、悩んでいる事があれば、親身に対応して頂	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	12		1	2	今までは保護者同士の交流は少なかったが、増えていると感じます。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15				現在悩んでいる事を相談すると、すぐに対応して頂いています。	
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	15				「今日少し咳していました」など、些細な事も伝えてくれます。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	14			1	おたよりなどで行事のお知らせがあり、行事に対して保護者アンケートの結果もおたよりで知らせてくれます。	
非常時等の対応	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	15				特に不安を感じたことはありません。	
	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	12		1	2	緊急時の対応については、利用契約で説明があったが、訓練が行われているかは分かりません。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	15				定期的に避難訓練が行われていると伺っています。	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	15				とても楽しみにしており、土曜日と日曜のお休みの日も行きたいと言う事も多いです。	
	23 事業所の支援に満足している	15				親も子供自身も満足しています。	

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 年 月 日

事業所名 チャイルドサポートみやこII

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1		
	2	職員の配置数は適切である	12	1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12	1		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	1		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	3		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	3		外部評価行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13			
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13		定期的に担当者会議を行っている。	担当者会議を行い、保護者の意見を聞き子供が過ごしやすい環境作りを連携していく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13		児童発達支援計画のモニタリング	計画通りの支援ができていないか、定期的にモニタリングを行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13		全スタッフの意見交換	全スタッフで話し合いを行い、支援プログラムの具体化を行っている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	13			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	1	毎日振り返りをする時間を設け、話し合い、共有、改善に努めている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13		毎日記録し、今後に繋げる事が出来る様工夫している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13		相談員の呼びかけで関わっている専門職、支援員が全員参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	12	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	13			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	12	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	3	様々な研修に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	13			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	12	1		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	13			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	13			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	4	行事の時は保護者に呼び掛けている。	行事の時に保護者通しの交流もあるが、保護者会があるといういろいろな意見も出ると思うのでそういう機会も作っていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	1		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	13			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	2		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	1	避難訓練、火災訓練の実施	定期的に訓練お行い、保護者への報告、説明も行っていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13		てんかんのある児童は前もって保護者より座薬等を預かって	緊急連絡、搬送等も行えるように保護者に確認をとっている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13		初回のアセスとの時に保護者に確認をとっている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	1	専門職等の助言を得て検討。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。